

生コンライン 若手確保、知名度向上へ 実習授業の継続で

ライオン生コン(岐阜県加茂郡川辺町)は21日、岐阜県関市立商工高等学校で今年度第1回目となるコンクリート実習授業を行った。同校の建設工学科(土木、建築学科)の生徒36人(土木17人、建築19人)が参加した。

実習授業は、コンクリートの材料や配合などについて説明した後、6〜7人のグループに分かれ、コンクリートを着色したカラーコンクリートと骨材を計量し、練り混ぜる作業を行った。生徒は、セメント、細骨材、粗骨材、水と混和剤の順でそれぞれ計量した材料を投入し、生コンの重さの多い、粘性などに驚き、苦労していた。

スランプ試験では、実習授業を手伝う補助員がスランプコロンに生コンを充填し、生徒が突き棒で所定回数突き、スランプコロンを抜いた。コンクリート供試体の作製では、補助員の指導を受けながら、各班が供試体にそれぞれスランプで生コンを充填した。この供試体は10月19日の第2回目の実習授業で行う圧縮強度試験に使用する。



生徒が圧縮試験用の供試体を作製する

教え子が入社



加藤氏

加藤天登氏は今年3月まで同校のライオン生コンの生徒だった。今年1年生になった2019年度にライオン生コンの卒業生として入社した。同校が毎年開催している地元企業への

中長期インターンシップとして同校を選んだ。卒業から約3か月後には、母校へ出前授業のお手伝いとして訪問。自分が学んでいた場所、教わった側から教える側に立場が変わったことについて「感謝、自己紹介した加藤氏。自分自身が1年生の時に興味を持った生コンクリートについて、皆さんにも興味を持ってもらえれば」と語った。

社会的認知が仕事の励みに



深井社長

生コンの商取引は「BtoB」がメインのため、学校やタマなようなイベントに出展することで、次世代に必要不可欠な人材として、社会的責任を果たしているもの、実際に子供たちが触れる機会には街中を通行している。同社はモバイルミキサーを活用した浸透性コンクリート舗装に加え、離島や僻地での生コン製造、特殊コンクリートを活用した補修事業に参入した。さらに、床研磨事業や外構事業、農業など事業の多角化を進めている。これらの事業は中村社長だけでなく、在籍する社員の見識なども踏まえて決めている。

川端工業 SNS活用で成果 若手や女性の採用増



中村社長

福井の大手コンクリート圧送業者の川端工業(中村光宏社長)は、SNSを活用した情報発信を通じて、若手や女性の採用で成果を上げている。同社社員の平均年齢は30代後半と他の専門工事業に比べても若い。若い世代の関心が高いインスタグラムのフォロワー数も2000を超え、その投稿に惹かれて入社するケースもある。同社は福井県内の有



同社の施工現場では若手が多く活躍する

コン需要は減っているが、単価が維持できている圧送業者が現在も同社の根幹となっている。10年代後半から圧送業以外の事業化を模索していた中村社長は、生コンに注目し、残コンや再生骨材を用いた生コンを提供できるモバイルミキサーを台車導入した。近隣で廃瓦の処理に困っているという話を聞き、廃瓦と再生骨材を用いた浸透性(透水性)コンクリートを手がけるようになった。「再生コンクリートに廃瓦を混合することで物性が良くなり、営業ペースに乗

たものでなく、女性であつてもできることを強調したかった」。同じ、女性が働きやすい環境を整え、現在在籍する若手や女性の数は、同社が「経験者」を求めているが、浸透性舗装の現場を中心に、コンクリートなど「自分ができる仕事」を社内で作ると決めている。

合格しています。

全国統一品質管理監査会議で承認された「良質の生コン」の証。



付いています。

監査合格工場で作られた「安心の生コン」を運んでいるミキサー車に付いているマーク。



どちらも「よい生コンクリート」の目印です。

東京・神奈川・埼玉・千葉
生コンクリート工業組合
http://www.tokyo-kousou.or.jp

東京都生コンクリート工業組合

本部 〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-26-9
TEL 03-3553-7541

事務所 〒273-8503 千葉県船橋市浜町2-16-1
TEL 047-431-9211 FAX 047-431-9215

理事長 吉野友康
副理事長 斎藤昇一
副理事長 小林正剛

副理事長 諸角富美男
副理事長 戸啓昭
副理事長 堀川和夫

米金商店 小学生らの職業体験 キッズタウンぎふに出展



ミキサー車で生コンの排出体験をする様子

としてブースを出展。ブースでは、コンクリートの構成材料やコンクリートミキサー車といった設備を紹介するビデオを視聴してもらい、プラントオペレーターが行う作業体験を提供した。ミキサー車では、運転席に乗り込んで無線機を使って出荷準備が完了するまでの手順を確認した後、ミキサー車ドラムのレバーを使って荷卸しのデモを行った。ミキサー車のドラムには、カラーボールが入っており、子供たちがレバーを引くと排出される。

鹿児島広域生コンクリート協同組合

理事長 中西 智也

〒891-1231
鹿児島県鹿児島市小山田町4-48番地
TEL (099) 238-2222 FAX (099) 238-4452

砕石、砕砂、ミクロストーン プレミックスモルタル・土のうステーション

中央砕石株式会社 中央商事株式会社

代表取締役 山本 和成

〒569-1051 大阪府高槻市大字原 856-4
中央砕石 TEL 072-687-0076
中央商事 TEL 072-687-0085
Eメール info@chuo-saiseki.co.jp
URL https://www.chuo-saiseki.co.jp

業界唯一の「調査・判定・交渉」機関を有する制度
制度創設17周年 生コン協同組合の品質保証に貢献!

『生コン瑕疵保証』

一般社団法人フレッシュコンクリート保証機構

代表理事 杉本 純一

URL http://fwobest.com/ Email info@fwobest.com